

プロレタリア通信

No.11

革命的学生の課題

安保改訂調印阻止のゼネストを準備せよ

書記局学対部

政治的空白に衝きを、
学生運動の転換は言葉ではない

1959. 4. 21

今や、共産主義的学生の負っている緊急課題の課題は、学生運動の「転換」を言葉をもって語るのではなく、神妙にとりおこなわれつつある可だれを次の支配者に選ぶかの儀式に全ての指導部が迎撃をあげている最中に、その「転換」を事実をもって示す事であらねばならない。はじめ警備法でつまづいた岸政府が政治的には巧妙な迂回作戦をとって平和な雰囲気をもって政治的過程を「平和」に導こうと努力し、そしてさしもの強物を交錯した炭鉱労働者も前進して資本家階級との休戦の道を歩む事によって、春闘争を一応終盤の方向に向かわせたとみるや、一たん躊躇した安保改訂を心たな新たな動力をもつて展開し始めようとしている事情が一方にはある。岸や藤山は、藤山試案(二月一日)「プロレタリア通信」(参考)を基とした改訂要綱案によって実際の交渉を進め、その過程で一たん躊躇した左翼内部の激闘抗争を、結果主の方向に向わせ、「自主性回復」の名のもとに民族意識を煽りたてながら、それをあつかましくも「選挙のみやゆ」にしようというわけである。もちろんこうした策略は官僚の狡猾な手によって秘密裡に進められていたものであるから、はつきりとした階級的自覚にたない指導部に対してはこれ又おさまりの選挙カンパニア以上のものは期待することもできない。このような状態では階級的な頭脳をもつとみなされている多くのインテリゲンチヤが「自主性回復」の改訂は必ずしも悪くないというような

感念に陥入っているのも無理はない。しかし、これには他の側面がある。既存の指導部が、奮闘しつづける、下部大衆の苦難に満ちた闘いを選挙の犠牲に供しようとしていることに對して、また一つには結果されていらない不満や不信の空気が中級下級の幹部をこらえているということである。三銃連、日鋼、川鉄の労働者のあいだに燃えたる闘争の気分には思い切りの水増しがかげられ、日教組の「勤労報復大争」に対する抵抗も京華、和歌山等において熾烈な職場闘争のきざしをみせながら、燃えささる前に消しとめられてしまった。斗わなくてはならぬという感情が真に活動家を捉えてはいるが、これが一つの物質力に凝集するたりにこの平和な雰囲気をはくち破る衝動が必要なのである。このような事情のもとでは学生が階級的な役割を果すことはおおいにありうることであるし、又さうせねばならない。だが学生運動をして、私慾に労働運動を一步でも正しく階級的立場へおしやるのに役立たしめるかという任務を自覚した共産主義的學生階級の先頭にたつことなくしてはそれは不可能である。学生大衆のもつ小ブル的民主主義的意識を燃えさかすこと、行動にたちあがらせる事によって平和な雰囲気をつきやぶること、これをやりとげることが「学生運動の転換」が言葉以上のものであるかどうかを試す試金石となるのだ。

三月下旬、東京地裁の法廷において、あの血に染られた砂川斗争に下された判決が、政治的空白に大きな衝きを加えようとしていた時に、革命的學生は、運動の転換に伴ってあらわれた戦線内部の階級的闘いに仕組を打った。スターリン主義の境内においては、トリアツキ主義者をもってしても大衆の信頼をつなぎとめておくことはできないという事情のもとでトロツキードクマをめぐりつづける新しい旗をもち出した日和見主義(プロレタリア通信10、社会主義の旗)の頭をもたげていたのである。われわれは直捷の階級闘争の手先には階級的な斗争を本意との闘いを有効に押し進める事は、戦線内部の階級的闘いに對して非階級的な闘いを懸けて、われわれの立場をきりとり階級的自覚のうえに築きあげることによって可能

だ、たのである。だが学生運動の転換は言葉だけのものではなない。砂川判決投げかけた波紋の振中を拡大し、それを階級的に役立たしめるのは、戦線内部の反動的体制の編成過程の中でその取を投げつづけるもった「良心」的な裁判官に拍手したり舌を滑らしたりするこゝとを止まざるもてはなかつた。糾弾を政治的煽動によって大衆を即刻組織し、それによって、又、大衆斗争の拡大の条件を作りあげていく事が必要であつたらう。政治方針における思想上における偏向と斗わねばならなかつた東京の革命的學生は、かゝる自己批判的立場にたつて、この過程で大衆斗争の組織のための体制を急速に作りあげていった。新しい学生がまた本格的に始まる四月二十五日には早大(一八〇名)、東大(一四〇名)を中心とした五〇〇名にのぼる学生が、折から再開された安保改訂交渉の中止を要求し、官憲の弾圧を擁護する連署委員長(一名の検束)を蹴って首相官邸、外務省等に戦線的なデモンストレーションをかける事によって戦いの火蓋はきられた。この戦線的な行動は、僅かに夜のカンパニア集会によってお茶をにのせられようとした安保改訂斗争をいかに発展させるかの糸口を与えた。選挙戦一本橋にあきたらぬ労働組合の中、下級幹部のあいだにも行動への刺激がもたらされた。だがこれは闘いの第一歩にすぎない。

一五日を成功に闘った各自治会は、その過程で闘いの体制を急げに作りあげると共に更に次の斗争の大衆的拡大のために闘っている。全日いたるところで学生戦線内部の同盟員は、二十八日の全学連第一波斗争と五月の爆発的暴揚をめぐりて各部署について闘っている。例えは北海道では実に一五〇名もの活動家によって拡大中戦線が開かれた。完全な戦線体制に入った学生の大衆を接待し、戦線的行動にこれを引き入れることによって選挙を前にした平和な雰囲気をつくりださねばならない。批判の武器は武器の批判に代ることはできない。学生運動の転換は学生運動と労働運動の結合を論ずるだけでは闘いは前進しないからである。

また一方では、ブルジョアジーの交渉も急げに展開しようとして

ている。しるべきは、この二つの途の根柢は我々の上にかゝっている。闘いを急げようとしている。闘いを見送ることによって日本ブルジョアジーの陰謀を許すか、ゼネストを中心とした実力行動によって改訂の陰謀を粉砕する事、成功するか、この二つの途の根柢は我々の上にかゝっている。

II 交渉の新たな展開

帝国内閣として、徳意の本領を占めようとした権威が大衆を驚かして、新...

その強北に於て、西ヨーロッパに於て帝国内閣の再編成が進行して...

III 「印信改訂阻止」「津田打倒」のゼネラルストライキを準備せよ

その強北に於て、西ヨーロッパに於て帝国内閣の再編成が進行して...

それに対して、帝制主義者の反動は、意欲は組織的に行われ、...

その強北に於て、西ヨーロッパに於て帝国内閣の再編成が進行して...

その強北に於て、西ヨーロッパに於て帝国内閣の再編成が進行して...

その強北に於て、西ヨーロッパに於て帝国内閣の再編成が進行して...

その強北に於て、西ヨーロッパに於て帝国内閣の再編成が進行して...